



BLUEEYESBLUE

Onii-chan Dakedo Ai Sae Areba Kankei nai yone

ビュッ

よし たっぷり
気持ちよくさせて
やるからな

あっきー
わたくし身体が疼いて
しかたがないの

今日もお願い
できるかしら

あんっ

たっぷんっ

たっぷんっ

しゅんっ

ぶっぶんっ

わたくしとしては
おっぱいよりも
こっちをどうにかして
欲しいのだけれど...

んっ

ああそれなら
前戯ナシでいくぞ!!

くっほあ

ト...

あああ♡♡

ズグズグ!

自分から誘ったんだろ？
それにアナは無理矢理
犯されると感じる
変態のくせに

おちんちんを
乱暴に奥まで
突っ込んでっ

わたくしを
穴扱いなんて
酷い男だわって

そ…そんな
ことないわ

はあっ

んはっ♡

そうか
じゃあ今すぐ
ちんこ抜いっ

だめっ

お願い
抜かないでっ

最後までして
欲しいの♡

ハハハ♡
くち♡

ズグ





アナの膣内^ア 凄^アい締^アま^アって 気持ちいい^アって !!

あ^アっ^アき^アー^アの太^アい おち^アん^アち^アん 気^ア持^アち^アい^アい^アっ

が^アく

あ^アん

ん^アん

も^アっ^アと^ア! 突^アい^アて^アえ^アっ^アく

が^アく

ズ^アッ

パ^アッ

ズ^アッ



あ^アっ^アき^アー^アの 濃^ア厚^アザ^アー^アメ^アン 全^ア部^アわ^アた^アく^アし^アの ナ^アカ^アに^ア出^アし^アて^アえ^アの

ア^アナ^ア!! いく^アよ^ア!!

あ^アあ^アあ^ア

ビ^アッ

ズ^アッ

ち^アゅ^アっ

ち^アゅ^アっ

ズ^アッ



あんなあんな♡♡♡

クッッッ

クッッッ

ドゥ

ドゥ

クッッ

あんな♡♡♡

クッッ

あっきー
だいすきい…♡

はあ♡
わたくしのナカで
あっきーの精子で
いっぱい…♡♡

クッッ

クッッ





あら あっきーだって
わたくしにこうやって
フェラチオされて
嬉しいのでしょうか？

こんなにいやらしく
おちんちんパンパンに
させて興奮しているくせに

うあっ!!

それは那須原さんが
こんなことするから
じゃないかっ



あっきーは
淫夢の中でわたくしの
世界遺産並の身体にどんな
陵辱の限りを尽くして
いたのかしら？

うぐっ…
いやそーいまで
では…

どんなエロエロな
夢を見ていたのか
知らないけれど夢より
知らぬわたくしの方が
本物のわたくし出来るわ
気持ちよく出来るわ

なにも妄想に
張り合わなくても
うああっ!!

じゅる

ちゅ



ところで

さっきの話
だけど





なっ
那須原さん!?



いや 涙目だし
そんなに無理
して飲まなくても…

…んんっ
あっきーの精子が
あまりに濃くて
美味しいから
思わず全部
飲んでしまったわ



んほっ

ゴクッ



ええと…
那須原さん？

…これだけやったら
いくらあっきーでも
分かると思っただけ
だけどダメなのかしら



鬼畜なあっきーが
飲めって強要するから
仕方なく全部
飲んだんじゃない

あれ？僕そんなこと
一言も言っていないし
むしろ僕の方が
襲われてる側だよな？



いいわ…わたくし
あっきー専用の
アナになってあげるっ

ぐいっ

んっ

ズカッ

お願い話を
聞いて…っ!!



わたくしのことは
アナと呼んでは
何度言ったら分かって
くれるのかしら

ところでわたくし
あっきーの精液を
飲んでから
身体の火照りが
止まらないの



これはあっきーに
責任を持って
鎮めてもらうしか
なさそうね

えっと…アナ
これ以上するのは
ホントマズいって

あらやっぱり
わたくしのこと
穴だと思っ
たのね



いや今の状況で
そういうの全然
シヤレになっ
て…いっ!!

ぐいっ



ほほら
あっきーの
おちんちん全部
入ったわ…

!!

ズグ

ビクッ

ビクッ

だからそんなに
無理しなくても
しっ
してないっ!!

わわたくしの
処女マンコをたっぷり
堪能させてあげるっ

んんん

ズグ



んんん
だっ大丈夫よっ
好きな時に出して
いいんだからっ

アッ!
そんな激しく
動かないでっ!!

んんん
んんん

そっそんなわけには
いかないでしよっ!
流石にナカはマズい……っ

ポッ

カッ

カッ
カッ
カッ



……っ!!

あっきーは細かいこと
気にしすぎよっ
気持ちいいなら素直に
気持ちいいでいいのよっ



カッ
カッ

ああ
カッ

んほ、

夢に見るほどしたかったわたくしとセックスできて嬉しいのでしょうか？

恥ずかしがらずに素直に気持ちいいって認めてしまいなさいって!!

はっ

あっ

ズッ

ズー
ズー
ズー

だからそれは違うんだって…

うあ

ズー

めろ
ん

…何をそんなに遠慮しているのかしら？

びっ

…っ!!

あっきーはわたくしとエッチなことしたかったのではないの？





いや…でも僕は
アナの彼氏でも
なんでもないのに
こんなことするの
マズいと思うし…

あき

…それは本気で
言ってるのかしら？

わたくしが
好きでもない人と
こんなことする
わけないでしょう!!



ごめん!!
そうだよな…女の子に
ここまでさせておいて
今更誤魔化そうとする
なんて最低だよな…



わたくしがどれだけ
勇気を出して…っ
あっきーに…っ



僕ちゃんと
責任とるから
アナ…
最後までしよう

あっきー…
ようやく言って
くれた…



今度は僕から動くよ…
いいかいアナ

うう…
はっ

冷静になったら
こんな格好であっきーと
繋がってるなんてすごく
恥ずかしいのだけど…

はあ

はっ

はっ

はっ

はっ



さっきと全然違うっ
やっぱり一緒の方が
ずっと気持ちいいっ♡

ああっ♡
ズッ

ズッ



そんなこと言っても
もうやめないよ？

ああっ
あっきーっ♡

ズッ



アナのアソコ
さっきより締まって
すごく気持ちいいよっ!!

だってっ
あっきーがわたくしを
ちゃんと見てくれるのが
うれしくてっ

ドッ

はっ

ドッ

おっ

おっ

おっ



まったくっ
アナは可愛いなッ!!

かっ可愛いなんて
あっきーにそんなこと
言われたらわたくしっ

はっ

はっ

おっ

おっ

ドッ

おっ



わたくしもう♡
イってしまおう!!

あは

僕もっもう
出ちやいそっツ!!

あいつわっ
あっきーのっ

あは

あは

あは

あは

あは



アナツツ!!
出るツツ!!

あは



あは

あっきーの精子っ
全部わたくしの
膣に出してっ

あは



あああ

あああ

あああ
あ
あ

あ
あ

あああ
あ
あ

あ
あ



まだ精子
出てるう...

はあ

あ

あ

あ



順番は滅茶苦茶だけど
今度は僕から言わせて
：僕をあなたの
彼氏にしてください

あっきー！…♡



だっだっ
ふた

ええっ!?



んんん!?

ちゅっ



いきなり乙女の
ファーストキスを
奪うなんて
非常識だわっ

いやいや！いきなり
あんなことしてきた
キミがそれ言うの!?



：だって至近距離では
わたくしの顔が
にやけているのに
気付かれるじゃない…

え？

なっ

なんでもないわよ
バカあっきー！



BLUE
EYES
BLUE
GUILTY HEARTS
ComicMarket83